

平成30年10月までの実績について

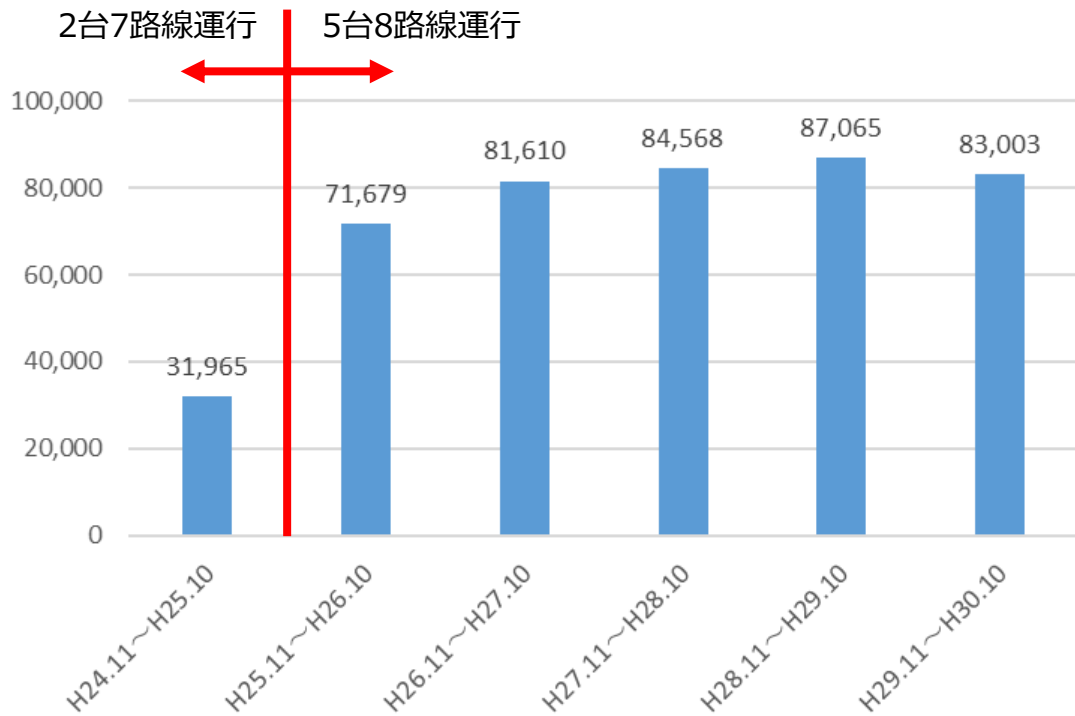


図1 年間利用者数推移 (人)

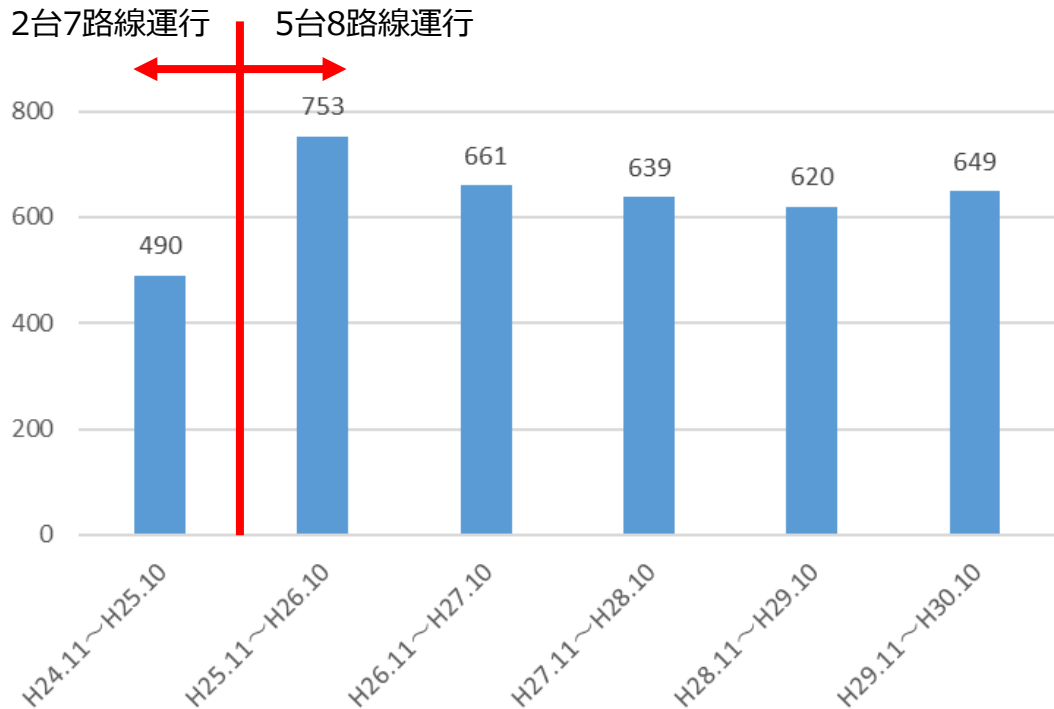


図2 1人あたり運行負担金推移 (円)

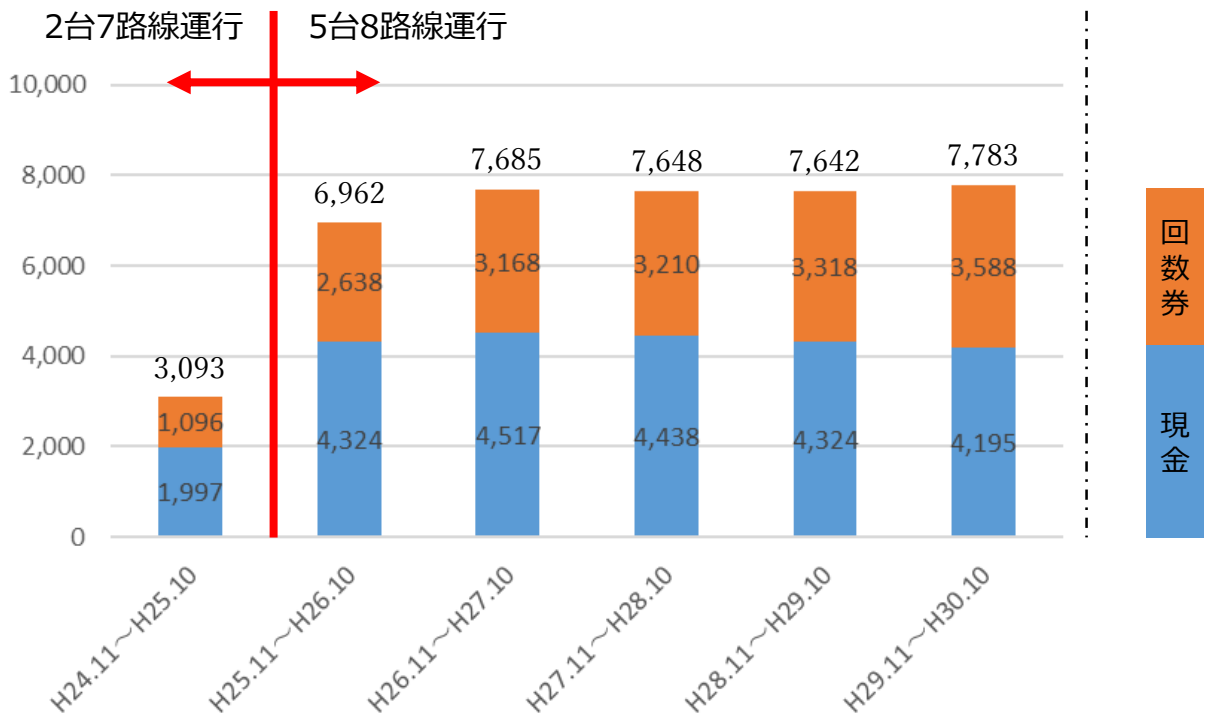


図3 料金収入推移 (千円)

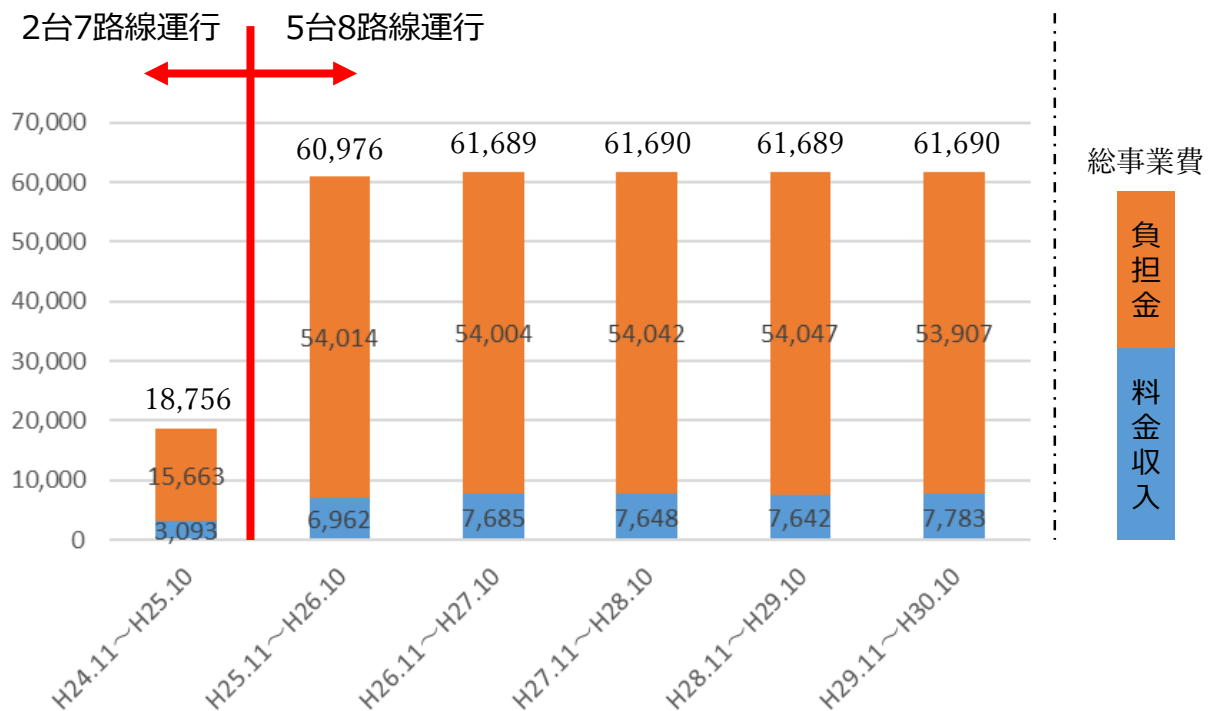


図4 運行負担金推移 (千円)

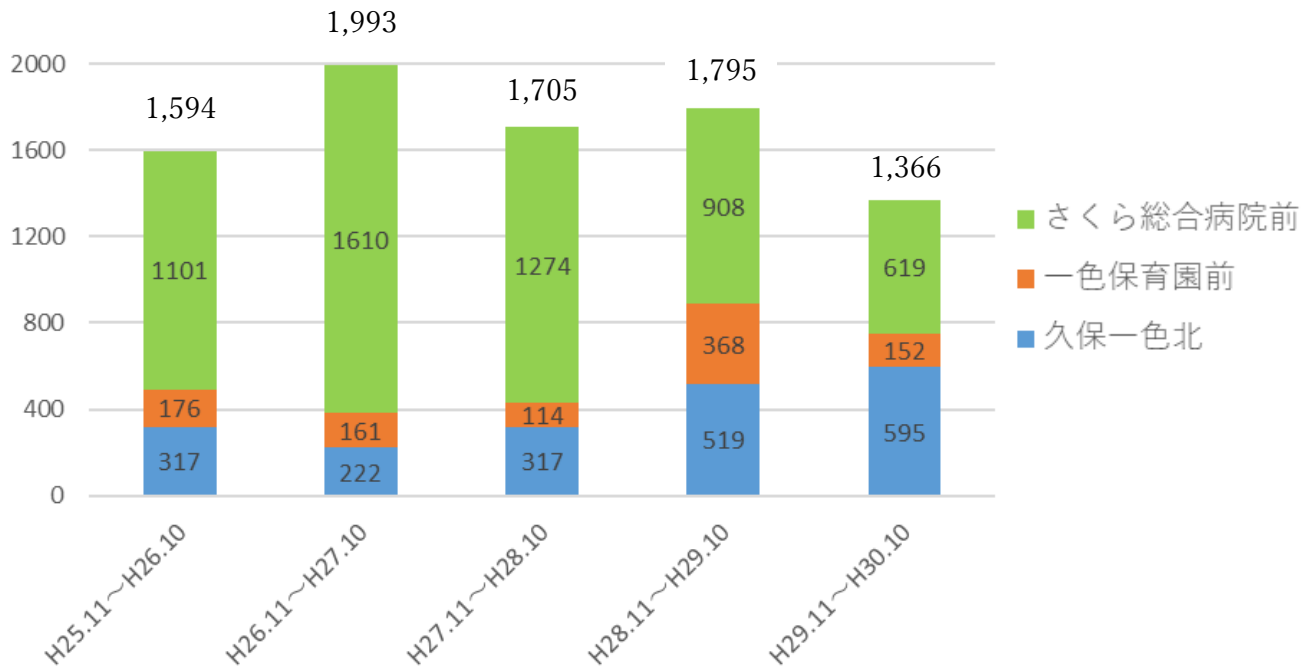


図5 市外バス停利用者年間推移（人）

【総括】

- ・ 2台7路線から5台8路線への拡大については、年間利用者数の増加率からみても概ね成功したものと思われる。
- ・ 料金収入において、回数券の収入が増加傾向であり、リピーターも定着したものと思われる。
- ・ 前回再編から5年経過し、年間利用者数も87,000をピークに減少に転じたことから、今後は新規の利用者開拓が必要と考える。